第38回の藤井報告では・・・ https://www2.nao.ac.jp/~open-info/engipromo/techsympo\_2018.html 以前の技術シンポにて 個人的に改善したいところ 自分の成果を発表して聴講者の向上に寄与したい 発表内容にコメントいただき自分の向上につなげたい 発表 発表内容を聞いて自分の向上につなげたい \_\_\_ 聴講者 独り言@第38回 発表者にコメントして発表者の向上に貢献したい。 発表者と聴講者の連携 🕒 他の部署の動向がわかる ○ <=発表は任意なのですべてを網羅できない 発表練習の場 懇親会!! <=もちろん好きですけど・・・ 発表(15分) 直後の質疑応答無し ブレークアウトルームにてまとまった時間で意見交換 今回(第41回)は (フル発表+ポスター発表も以前からありましたが) テーマ設定 会場確保 もろもろもろもろ 雑務 三鷹中心にならないように 世話人会@第38回 各観測所(ハワイ・野辺山・水沢) 🕞 遠隔地会議 f2fの良さも痛感するけど・・・ イベント開催スキルは役に立つか? 小俣孝司、倉上富夫、坂井了、清水上誠、清水莉沙 代表者を決めずに世話人会ごとに司会・議事録作成をローテーショ 今回(第41回)は 「基調講演」+「グループディスカッション」 テーマ: 日本の天文学に関する技術の問題点と将来像 ④ 世話人企画@第38回 (世話人独自で企画したものの) 技術推進室の考えを踏まえながら柔軟に技術シンポに取り込んでいく リモート開催であるにかかわらず、果敢に企画に挑戦 テーマ設定にアンケート実施「技術によって切り開かれるサイエンス」 14:50~ 基調講演 14:50 100年後に残すデータ 国立天文台 天文データセンター 小杉 城治 15:20 技術によって切り拓かれるサイエンス -ハードウエア開発の経験から考えた 国立天文台 先端技術センター 鵜澤 佳徳 15:50~ 休憩 16:00~ パネルディスカッション 16:00 技術によって切り開かれるサイエンス 今回(第41回)は ファシリテーター 満田 和久 国立天文台 先端技術センター 技術主幹・技術推進室長 パネリスト 石川 遼子 国立天文台 太陽観測科学プロジェクト 鵜澤 佳徳 国立天文台 先端技術センター 小杉 城治 国立天文台 天文データセンター 杉本 香菜子 国立天文台 アルマプロジェクト 平林 誠之 国立天文台 先端技術センター 17:00 終了予定 **19:00~ 懇親会 ~21:00(**終了予定) (実は藤井は企画にあまり参加していない) ◀-----3年間藤井は技術推進室のメンバーとして世話人会で活動してきましたが、 なかなか線引きを行うことができず、世話人及び関係者に迷惑をかけたこともあったかと思います。 世話人会もだいぶ代替わりしつつうまく機能しているように見えますので、 来年度は?@第38回 藤井はオブザーバーとして国立天文台にも資する技術シンポとして進化できればと思っています。 リモートでの開催でなかなか本音の目的「懇親」につながりませんが、リモートならで

はの発表形態もお楽しみ頂き、日々の業務にも生かしていただければと思います。

【開会の挨拶メモ】

コロナ渦につき

技術シンポあいさつに代えて 🔗